

授業科目名： 英語文学講読（Ⅰ）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：武井 博美 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 英語）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・ 英語文学		
「学位授与の方針」との関係			
星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。			
A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。			
B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。			
C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。			
D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。			
E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。			
F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ			
この授業のテーマは、意外な結末を迎える短篇作品のストーリーをまずは純粋に楽しみ、その上で作品中の英語表現を学ぶことである。			
到達目標は、① 一人称小説と三人称小説の違いを知り、英語表現にどのような差異があるかを理解すること、② 文学作品は着眼点を変えることでまったく異なる「読み」が可能となる場合があることを知り、文化的背景などにも気を配りながら、作品の本質に迫ろうとする姿勢を培うことである。			
授業の概要			
人間のもっとも古い感情とも称されることがある「恐怖」。ひとことで「恐怖」と言っても、文学作品においてはゴシックロマンズ、ホラー、サスペンス、ディストピア文学、推理小説など、さまざまなアプローチで作品が生み出されてきた。この授業では、タイプの異なる短篇2作品を精読し、真に怖いものは何かという点を考える。また、作者がどのような英語表現を用いて読者の感情を揺さぶろうとしているのか、その技法について考察する。			

授業計画

第1回：文学史概説：文学の諸ジャンルや重要な作家・作品について

第2回：“The Use of Force” 精読①：一人称小説の特徴 / 会話文と地の文の使い分け

第3回：“The Use of Force” 精読②：登場人物の役割

第4回：“The Use of Force” 精読③：主人公の心情の変化

第5回：“The Use of Force” 精読④：医者から見たストーリー、患者から見たストーリー

第6回：“The Use of Force” 作品論を書く際の注意点

第7回：“The Lottery” 精読①：冒頭部について

第8回：“The Lottery” 精読②：固有名詞が意味するところ / 主人公は誰か

第9回：“The Lottery” 精読③：翻訳では理解し得ない英単語の重要性

第10回：“The Lottery” 精読④：喜劇と悲劇の違いについて

第11回：“The Lottery” 精読⑤：登場人物の役割とテーマとの関連性

第12回：“The Lottery” 精読⑥：作品のテーマについて

第13回：“The Lottery” 作品論を書く際の注意点

第14回：“The Use of Force” と “The Lottery” の作品比較：類似点・相違点

第15回：まとめ

定期試験

※スクーリングではすべての内容を包括的に扱う。

教科書

渋谷雄三郎編『*Twentieth-Century American Authors* / 20世紀アメリカ短編集』金星堂1981年。ISBN: 4-7647-0379-3

参考文献

別途、指示する。

学生に対する評価

レポート評価（25％）、スクーリング評価（25％）、科目修得試験（50％）を総合して評価する。